

## 6/20 生活支援体制づくり雄踏圏域協議体 GW 意見

- ・地区社協の家事支援でゴミ出し支援を続けていくことに、いつか限界が来る。新たな協力員も集まりづらく、継続することに限界を感じている。
- ・地区社協と自治連がより一層連携、情報共有を行い、このような問題を市に訴えていく必要がある。
- ・家事支援のゴミ出しは包括やケアマネからの依頼がほぼ占めている。
- ・軽トラックを利用し、小規模な範囲で集めて集積所に持っていくことはどうか。そのような活動者や企業に補助金がでるとなるとよい。手伝ってくれる人が増えるように思われる。
- ・生ごみはコンポートを使って処理している人もいる。それ以外のゴミを集積所まで持っていけない人が困っている。
- ・雄踏地区では、現在、ゴミ出し支援の必要性は感じられない。
- ・昔ほどではないが、他地区に比べると近所付き合いがあると思う。
- ・今後、支援を必要とする時代が来ると思われるが、ゴミを玄関先のボックス等に入れておいて、それを回収してゴミ置き場に持っていただけなら現実的だと思う。
- ・玄関先にゴミを出しておいてくれれば、ご近所同士で助け合いができるのではないかな。
- ・コロ付の荷車のようなものを貸出する。
- ・雄踏地区は、他地区に比べ住宅が密集しているので、ゴミ集積所が多い。
- ・ゴミ集積所が遠くて車でゴミ出しをしている地域もあると聞いている。雄踏は比較的近くにゴミ集積所がある。
- ・ボランティアは無料だと思っている方がいる。
- ・家事支援の際、お宅へ入る必要があると思うが、他人に我が家の中を見られたくないと思っている方がいる。
- ・ゴミ出し等の家事支援を実施している他地区では、依頼を受けた者が実働部隊となっていてるところもあると聞いている。実施してもそうようになってしまわないか。
- ・玄関先が整理されていない家も見受けられる（ゴミが溜まっている様子）。
- ・地区社協家事支援事業にてゴミ出しも対応している。一方で家事支援を使いたくない人も一部いる。
- ・現在の家事支援では通常ゴミを想定している。1件だけ連絡ゴミを対応したこともある。
- ・現在の支援員は主に60代～70代。
- ・家事支援の利用者実件数は多くはないが、今後は増えていくのではないかな。
- ・ボックス設置の方法は人とあまり関わりたくない方への支援方法としてありだと思ふ。